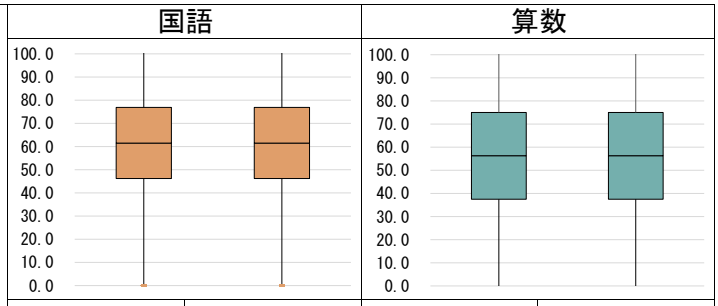
【１】教科調査・質問調査の結果

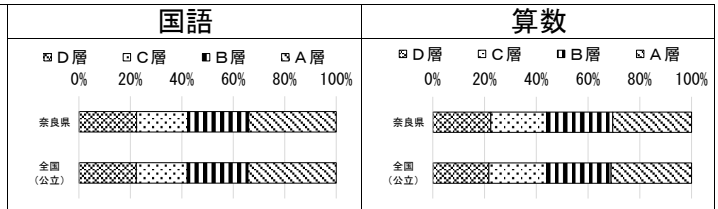
①小学校

＜正答率の分布＞



	国語		算数	
	奈良県	全国（公立）	奈良県	全国（公立）
第３四分位	76.9	76.9	75.0	75.0
第２四分位	61.5	61.5	56.3	56.3
第１四分位	46.2	46.2	37.5	37.5
平均正答率	61	60.9	56	56.4
標準偏差	23.3	23.1	25.2	24.9

＜正答数の層分布＞

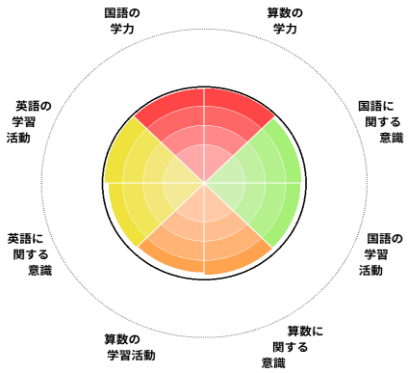


層	国語 D層	国語 C層	国語 B層	国語 A層	算数 D層	算数 C層	算数 B層	算数 A層
正答数	0～5問	6～7問	8～9問	10～13問	0～5問	6～8問	9～11問	12～16問
奈良県	22.4	19.8	23.7	34.0	22.4	21.5	25.6	30.4
全国（公立）	22.3	19.8	23.6	34.3	21.7	22.3	24.9	31.1

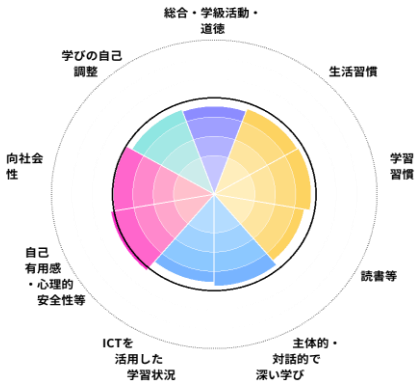
※Ａ～Ｄ層は、全国の児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。境界付近の正答数に児童生徒が多数いる程、全国値の各層の割合は25%から変動する。

＜結果チャート＞　　**※全国平均（5.0）を黒の実線で示している。**

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）



＜令和８年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号	スコア 全国基準
1	国語の学力		4.9
2	算数の学力		4.9
3	国語に関する意識	（５２）（５３）（５５）	4.8
4	国語の学習活動	（５４）（５６）～（５９）	4.7
5	算数に関する意識	（６０）（６１）（６３）（６４）	4.8
6	算数の学習活動	（６２）（６５）～（６７）	4.6
7	英語に関する意識	（６９）～（７１）	4.7
8	英語の学習活動	（７２）（７３）	4.9

※領域番号３～８については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

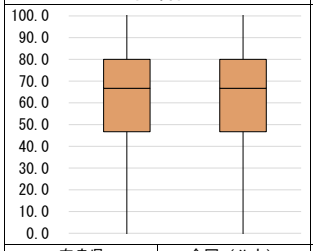
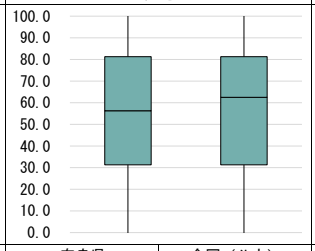
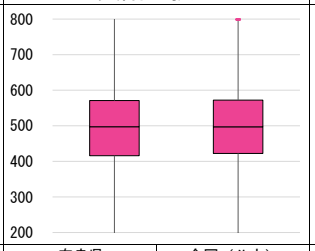
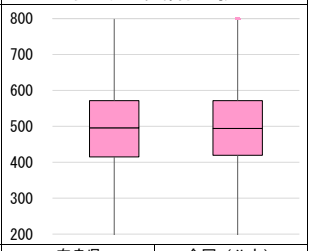
＜令和８年度その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号	スコア 全国基準
９	総合・学級活動・道徳	（４７）～（５１）	4.6
１０	生活習慣	（１）～（４）	4.7
１１	学習習慣	（２３）（２５）	4.7
１２	読書等	（２６）～（３０）	4.5
１３	主体的・対話的で深い学び	（３８）～（４２）（４４）（４６）	4.8
１４	ICTを活用した学習状況	（３５）（３６－１）～（３６－４）	4.6
１５	自己有用感・心理的安全性等	（６）～（９）（１３）（１５）（１７）（２０）（２１）	5.2
１６	向社会性	（１１）（１２）（１４）（３３）	5.0
１７	学びの自己調整	（２２）（４３）	4.7

※領域番号９～１７については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

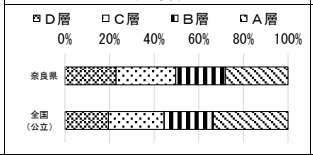
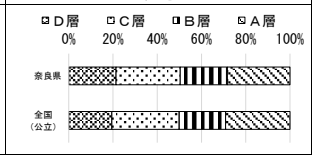
②中学校

＜正答率の分布＞

	国語		数学		英語４技能		（参考）英語３技能	
								
	奈良県	全国（公立）	奈良県	全国（公立）	奈良県	全国（公立）	奈良県	全国（公立）
第３四分位	80.0	80.0	81.3	81.3	571.1	572.2	571.4	571.4
第２四分位	66.7	66.7	56.3	62.5	497.4	497.1	495.7	494.1
第１四分位	46.7	46.7	31.3	31.3	416.0	422.3	414.9	419.4
平均正答率／平均IRTスコア	61	63.9	56	57.0	495～504	499.1	495～504	499.4
標準偏差	22.3	22.1	28.4	27.9	110.5	108.5	114.7	113.7

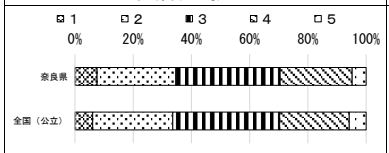
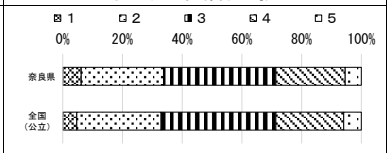
※中学校英語は、CBTで実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

＜正答数の層分布＞

	国語		数学	
				
層	D層	C層	B層	A層	D層	C層	B層	A層
正答数	0～6問	7～9問	10～11問	12～15問	0～4問	5～9問	10～12問	13～16問
奈良県	22.9	26.7	22.2	28.1	21.4	29.0	21.3	28.3
全国（公立）	19.5	24.9	22.1	33.5	19.5	30.4	21.0	29.1

※Ａ～Ｄ層は、全国の児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。境界付近の正答数に児童生徒が多数いる程、全国値の各層の割合は25%から変動する。

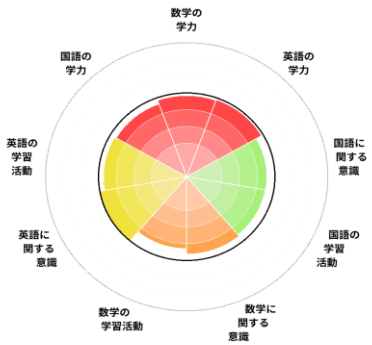
＜IRTバンドの層分布＞

	英語４技能					（参考）英語３技能				
										
IRTバンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
IRTバンドスコア	～341	342～448	449～556	557～663	664～	～329	330～443	444～558	559～673	674～
奈良県	7.6	27.0	35.8	24.7	4.8	6.2	27.5	37.6	23.2	5.4
全国（公立）	6.1	27.5	36.7	23.9	5.8	4.7	28.2	38.4	22.7	5.9

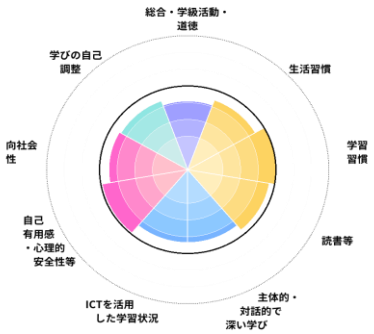
※IRTバンドの全国値について、理想的な正規分布となった場合、バンド３が約40%、バンド２及びバンド４が約23%、バンド１及びバンド５が約７%となるが、実際の各生徒のスコア状況により変動する。

＜結果チャート＞　　**※全国平均（5.0）を黒の実線で示している。**

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）



＜令和８年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問対応領域・質問番号	スコア 全国基準
1	国語の学力		4.6
2	数学の学力		4.9
3	英語の学力		4.9
4	国語に関する意識	（５２）（５３）（５５）	4.5
5	国語の学習活動	（５４）（５６）～（５９）	4.5
6	数学に関する意識	（６０）（６１）（６３）（６４）	4.6
7	数学の学習活動	（６２）（６５）～（６７）	4.3
8	英語に関する意識	（６９）（７０）（７２）（７３）	5.0
9	英語の学習活動	（７１）（７４）～（７６）（７８）～（８０）	4.7

※領域番号４～９については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和８年度その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問対応領域・質問番号	スコア 全国基準
１０	総合・学級活動・道徳	（４７）～（５１）	4.1
１１	生活習慣	（１）～（４）	4.4
１２	学習習慣	（２３）（２５）	5.0
１３	読書等	（２６）～（３０）	4.7
１４	主体的・対話的で深い学び	（３８）～（４２）（４４）（４６）	4.3
１５	ICTを活用した学習状況	（３５）（３６－１）～（３６－４）	4.3
１６	自己有用感・心理的安全性等	（６）～（９）（１３）（１５）（１７）（２０）（２１）	4.9
１７	向社会性	（１１）（１２）（１４）（３３）	4.4
１８	学びの自己調整	（２２）（４３）	4.4

※領域番号１０～１８については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

【２】全体の特徴

・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
・小学校のＤ層の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
・中学校のＤ層の割合、バンド１の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。

・小学校においては、「自己有用感・心理的安全性等」や「英語の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、低い結果が出ている（うち、「読書等」は、全国と比較しても低い）。
・中学校においては、「学習習慣」や「英語に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「総合・学級活動・道徳」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、低い結果が出ている（なお、いずれも、全国と比較して低い）。